SONY

IC レコーダー

クイックスタートガイド

ICD-UX532/UX533F/UX534F

4-438-474-**03**(2)

はじめに

本書はICレコーダーをはじめてお使いになるときに必要な準備、基本的な録音、再生、消去の操作方法や、上手な録音方法などを説明しています。
その他機能の説明や、詳しい操作方法は、別冊の取扱説明書またはヘルプガイドをご覧ください。
また、パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ（http://www.sony.jp/support/ic-recorder/）で、Q&A（よくある問い合わせ情報）、動画でサポート（上手な録音方法（シーン別録音のコツ））ほか）などを見ることができます。

箱の中身を確認する

- 本体（1）
- ステレオヘッドホン（1）
- USB接続補助ケーブル（1）
  お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。
- オーディオコード（1）（ICD-UX534Fのみ）
- ソニー単4形充電式ニッケル水素電池（1）（ICD-UX533F/UX534Fのみ）
- ソニー単4形アルカリ乾電池（1）（ICD-UX532のみ）
- キャリングポーチ（1）（ICD-UX533F/UX534Fのみ）
- 取扱説明書（1）
- クイックスタートガイド　本書（1）
- 保証書（取扱説明書の裏面に印刷されています。）

ヘルプガイドをインストールする

ICレコーダーの内蔵メモリーからICレコーダーガイドをインストールすると、ヘルプガイドで詳細な操作方法や困ったときの対処方法をパソコンで調べることができます。

① 本機のUSB DIRECT（スライド式USB端子用）つまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。
本機がパソコンのUSBポートに直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

② 正しく認識されているかを確認する。
接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

③ インストールする。
Windowsでは、「コンピュータ」または「マイコンピュータ」を開き、「IC RECORDER」→［FOR WINDOWS］→［Help_Guide_Installer_for_Win］（または［Help_Guide_Installer_for_Win.exe］）をダブルクリックする。
Macでは、Finderを使って、デバイスの「IC RECORDER」を開き、［FOR MAC］→［Help_Guide_Installer_for_Mac］（または、［Help_Guide_Installer_for_Mac.app］）をクリックする。（v10.5.8以降）

④ インストールしたあとに、パソコンのデスクトップの［Help_Guide_icdu53_jp.htm］アイコンをダブルクリックする。
「ヘルプガイド」が表示されます。
なお、ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ（http://rd1.sony.net/help/icd/u53/jp/）からも見ることができます。

使ってみよう

1. 電源を入れる

① 電池ぶたを開け、＋／－に注意して電池を入れ、ふたを閉める。

② 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドする。
電源が入ります。

電源を切るには、「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドします。

停止状態で操作しないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、10分になっています。）

2. 時計を合わせる

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま1分以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」のアニメーションが表示され、年表示が点滅します。

① ▲または▼を押して年の数字を選び、►（再生／決定）ボタンを押す。同じ操作を繰り返し、月、日、時、分の順に設定する。
分を選び、►（再生／決定）ボタンを押すと、時計が設定されます。

時計設定
12y 1m 1d
0 : 00

時計を設定しなかった場合、メニューを使って後からでも設定できます。詳しい操作方法は、取扱説明書の「メニューを使って時計を合わせる」をご覧ください。

3. 録音する

録音を始める前に、ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除してください。

① ●録音／一時停止ボタンを押す。
録音が始まり、録／再ランプが赤く点灯します。

② 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

③ 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。
「アクセス中...」のアニメーションが表示され、録音が停止します。

録音中に●録音／一時停止ボタンを押すと、録音が一時停止します。再度押すと、録音が再開します。

4. 再生する

① ►（再生／決定）ボタンを押す。
再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。

② 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

③ 再生を止めるには、■停止ボタンを押す。

5. 消去する

ご注意
一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。ご注意ください。

① 消去ボタンを押す。
「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

② ▲または▼を押して、「実行」を選び►（再生／決定）ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。

ICレコーダーの準備、基本的な録音、再生、消去の操作はこれで終了です。
あなたも今日からICレコーダーのユーザーの仲間入りです。さらに、ICレコーダーを使いこなすために、便利な機能の一部をご紹介します。

こんなこともできます

FMラジオを聞く（ICD-UX533F/UX534Fのみ）

FMラジオ受信時は、付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、ヘッドホンジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。
スピーカーで聞くときも、ステレオヘッドホンをヘッドホンジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。

① メニュー／FMボタンを1秒以上長押しする。
FMラジオモードに入ります。
初めてお使いになるときは、「受信する地域を設定してください」と表示され、地域設定画面が表示されます。
すでに地域設定をしている場合は、手順④から操作してください。

② ▲または▼を押して受信したい地域を選び、►（再生／決定）ボタンを押す。
選んだ地域設定を確認するメッセージが表示されます。

③ ▲または▼を押して「実行」を選び、►（再生／決定）ボタンを押す。
地域が設定されます。選択した地域の放送局がプリセットリストに登録されます。

④ お好みの放送局のプリセット（P）番号が表示されるまで、▲または▼を押して選局する。

⑤ FMラジオを止めるには、■停止ボタンを押す。

周波数で選局するには、⏮または⏭を繰り返し押します。

メニューを使う

メニューを使って、録音、再生、編集、表示、本体の様々な設定を行うことができます。ここでは、1例として操作音の設定方法を説明します。
そのほかの設定項目については、取扱説明書またはヘルプガイドをご覧ください。

① メニューボタン（ICD-UX532）またはメニュー／FMボタン（ICD-UX533F/UX534F）を押す。
メニュー画面が表示されます。
メニュー画面では様々な機能を設定することができます。

② ⏮を押した後、▲または▼を押して各タブのいずれかを選び、►（再生／決定）ボタンを押して決定する。
操作音を変更したい場合は、タブを選びます。

③ ▲または▼を押して、項目を選び、►（再生／決定）ボタンを押して決定する。
たとえば「操作音」を選ぶと、下の設定画面が表示されます。

④ ▲または▼を押して設定を選び、►（再生／決定）ボタンを押して決定する。

⑤ メニューモードを終了するには、■停止ボタンを押す。

1つ前の画面に戻るには
メニュー操作中に⏮を押します。

メモリー／タブ／フォルダ／ファイルを選ぶ

録音、再生、編集するファイル、フォルダ、タブ、メモリーを選択できます。

① タブ／メモリーを選ぶ。
1 フォルダボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。

2 ⏮を押した後、▲または▼を押してタブを選び、►（再生／決定）ボタンを押します。
選択したタブ内のフォルダ選択画面が表示されます。
(Voice)：録音可能エリア。本機で録音したファイルを管理するエリアです
(Music)：再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理するエリアです。
(Podcast)：再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理するエリアです。
(内蔵メモリー）または(microSDカード)：本体の内蔵メモリーとmicroSDカードを切り換えることができます。

② フォルダを選ぶ。
▲または▼を押してフォルダを選び、►（再生／決定）ボタンを押します。
⏭を押すと、選択したフォルダ内のファイルが表示されます。

③ ファイルを選ぶ。
▲または▼を押してファイルを選び、►（再生／決定）ボタンを押します。

その他の便利な機能

詳しい操作方法は取扱説明書またはヘルプガイドをご覧ください。

シーンセレクト
さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。（メニューで設定します。）
また、Myシーン1、Myシーン2では、お好みに合わせてシーンの設定を編集することができます。

トラックマーク
再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

デジタルピッチコントロール（DPC）
再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

書き起こし用再生
録音した1つのファイルを早送り／早戻ししながら聞きたい箇所を探したり、デジタルピッチコントロール（DPC）で速度調節しながら再生することができます。議事録等を書き起こすときに便利なモードです。（メニューで設定します。）

ラジカセ、テープレコーダー、テレビなどからICレコーダーへ録音する

オーディオコードを使用して録音すると、周囲の音などの雑音を入れずに録音することができます。
マイク端子にオーディオコードを接続すると、「外部入力選択」が表示されます。「Audio IN」を選びます。「シンクロ録音を機能を使って録音しますか？」と表示されますので、「はい」または「いいえ」選びます。シンクロ録音について詳しくは、取扱説明書またはヘルプガイドをご覧ください。

① ●録音／一時停止ボタンを押す。

② 接続先の►（再生／決定）ボタンを押す。

- ICレコーダー内に挿入したメモリーカードに直接録音する場合は、あらかじめ設定を変更してください。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子（ステレオミニジャック）を使って本機と接続し、本機の録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

ICレコーダーからラジカセ、テープレコーダーなどへ録音するには

オーディオコードを使用して録音すると、周囲の音などの雑音を入れずに録音することができます。

① 接続先の●（録音）ボタンを押す。

② ►（再生／決定）ボタンを押す。

録音された音声の音量が適切でない場合（音が小さかったり、歪んだりした場合）は、本機の音量を調節してください。

ためし録りのススメ
部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。
録音環境は人によってさまざまです。
望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。
ためし録りは、大切な録音を失敗しないため、また、理想の音質に録音環境を整えるために大変有効なものです。

ノイズとして録音される可能性のある音について

こんな音や振動もノイズとして録音されてしまいます

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。録音されるノイズには以下のようなものがあります。

触れたときの音

衣服と擦れる音

マイクにあたる吐息

机に当たる音

コツコツ
コンコン
コチコチ
カツカツ

エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音、机の上に置いたものの振動、机の脚から伝わる足音などは、聞こえる音よりも大きく録音されてしまうことがあります。

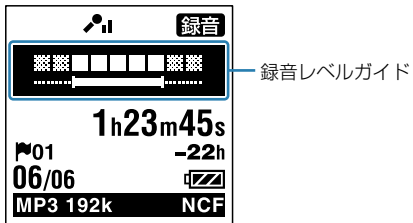
録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況に応じた「録音モード」を選んでください。ノイズが気になる場合は、録音モードを高音質モードに設定することをおすすめします。
- 状況に応じた「マイク感度」を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、マイク感度の設定を下げてみてください。
- 録音シーンに合わせて「シーンセレクト」を選ぶと録音モードやマイク感度など、録音に必要な項目を一括でおすすめの設定に切り換えることができます。

上手に録音するには

録音レベルを調整する

録音中は、録音レベルガイドが表示されます。

録音レベルガイド

上段に録音中の入力レベルが表示されます。下段の白いバーは、入力レベルの適正範囲を表示します。

左の図のように、録音中の入力レベルが、下段の白い部分に収まるように、マイクの方向や音源からの距離を調節したり、マイク感度、シーンセレクトの設定を変更してください。

💡 入力レベルの白く表示される部分が少ない場合は、音源の近くに移動したり、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

録音フィルターを使う

録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

① 停止/録音中にメニュー → 🎤タブ → 「録音フィルター」を選び、► （再生／決定）ボタンを押す。

② ▲または▼を押して、「NCF(Noise Cut)」または「LCF(Low Cut)」を選び、► （再生／決定）ボタンを押す。

NCF(Noise Cut)：LCF(Low Cut)でカットできる低い周波数の音に加えて、音声以外の高い周波数の音をカットします。
LCF(Low Cut)：プロジェクターなどのノイズや風きり音といった低い周波数の音をカットします。
オフ：録音フィルターを解除します。

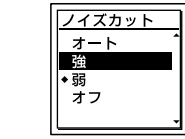
③ ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

再生時にノイズを軽減して聞きやすくするには

ノイズカット機能を使う

再生時に、ノイズカット機能を有効に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします。全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができます。

① 停止／再生時に、メニュー → ► タブ →「ノイズカット」を選び、► （再生／決定）ボタンを押す。

② ▲または▼を押して、「オート」、「強」または「弱」を選び、► （再生／決定）ボタンを押す。

オート：本機で録音したファイルに応じて、ノイズカット機能が自動的に動作します。
強：ノイズカットレベルを強くします。
弱：ノイズカットレベルを弱くします。「強」にして音声が聞き取りにくいときに選びます。
オフ：ノイズカット機能を解除します。

③ ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意
音楽を再生するときは、ノイズカット機能を「オフ」にしてください。

状況に応じた録音方法

会議録音

ハンカチなどの上に本機をのせることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。
発表者に近い場所で録音してください。
シーンセレクトを使うときは、「会議」を選びます。

授業・講演会録音

マイクを音源の方向に向けて録音します。別売の指向性マイクを使用することで、録りたい音声を狙って録音することができます。
シーンセレクトを使うときは、「講演」を選びます。

インタビュー録音

マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。
シーンセレクトを使うときは、「インタビュー」を選びます。

電話録音

電話録音用マイクECM-TL3（別売）を使って自分と相手の声を録音できます。
シーンセレクトを使うときは、「インタビュー」を選びます。

歌やカラオケの録音

ステレオ録音モードで臨場感のある録音ができます。
シーンセレクトを使うときは、「歌・音楽」を選びます。

💡 ヒント
大きな音で歪む場合は、遠ざけて録音してください。

音楽録音

ICレコーダーをピアノの上にのせて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。ICレコーダーをピアノから1 ～ 2m離して録音してください。
シーンセレクトを使うときは、「歌・音楽」を選びます。

💡 ヒント
大きな音で歪む場合は、楽器から遠ざけて録音してください。

メモ録・口述録音

録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。
シーンセレクトを使うときは、「ボイスメモ」を選びます。

ご注意
本機を手に持って録音するときは、本機に触れたときのノイズ（タッチノイズ）が録音されないようご注意ください。

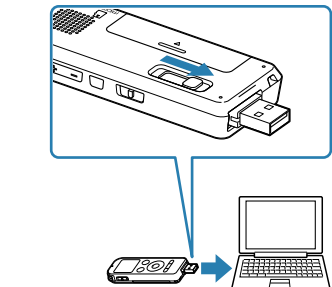
パソコン用ソフトウエア「Sound Organizer」を使う

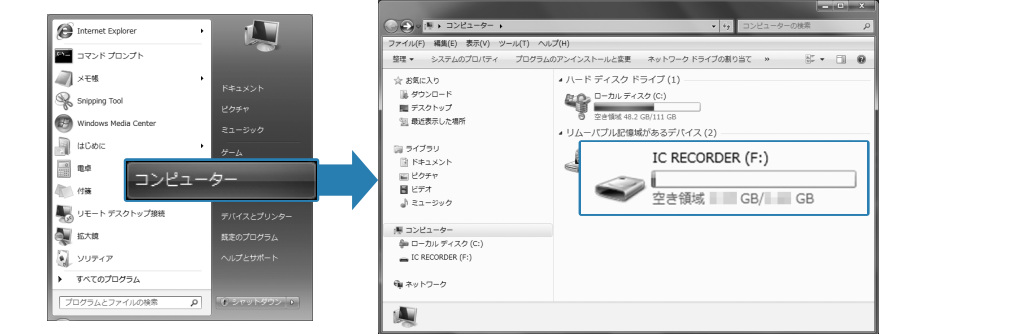
録音したデータを簡単に管理・編集できるソフトウェア「Sound Organizer」。
お好みの音楽CDを作成したり、会議の議事録作成、語学学習、音楽再生などをサポートします。パソコンならではの楽しみかたが広がります。

Sound Organizerをインストールする

Sound Organizerを使用するために必要なシステム構成は、取扱説明書の「Sound Organizerを使う」を確認してください。

ご注意
Sound Organizerをインストールするときは、Administrator（管理者）権限でログオンしてください。

① 本機のUSB DIRECTつまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。
本機がパソコンのUSBポートに直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

② 正しく認識されているかを確認する。
接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

③ Windowsの[スタート]メニューから、[コンピューター]（または[マイコンピュータ]）をクリックし、[IC RECORDER] → [FOR WINDOWS]をダブルクリックする。

画面はお使いのWindowsのバージョンによって異なります。
本書では、Windows 7を例にして説明しています。

④ [SoundOrganizerInstaller_V140]（または[SoundOrganizerInstaller_V140.exe]）をダブルクリックする。
画面の指示に従って操作してください。

⑤ 使用許諾契約の内容を確認したら、「使用許諾契約に同意します」を選び、[次へ]をクリックする。

⑥ 「インストールの種類」の画面が表示されたら、お好みで「標準」、「カスタム」のいずれかを選び、[次へ]をクリックする。
「カスタム」を選んだ場合は、画面の指示に従い、インストール設定を行ってください。

⑦ 「インストールの開始」の画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。
インストールが始まります。

⑧ 「Sound Organizerは正常にインストールされました」の画面が表示されたら、「Sound Organizerを今すぐ起動する」をチェックし、[終了]をクリックする。

💡 Sound Organizerのインストール後、パソコンの再起動が必要になる場合があります。

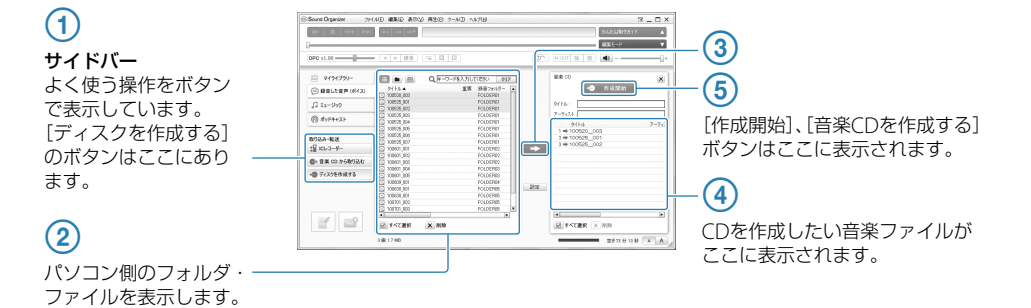
Sound Organizerの詳しい操作方法については、Sound Organizerの[ヘルプ]または[かんたん操作ガイド]をごらんください。

ヘルプ　かんたん操作ガイド

「Sound Organizer」は、ICレコーダー サポート・お問い合わせページからもダウンロードできます。

http://www.sony.jp/support/ic-recorder/

音楽CDを作る

- 未使用のCD-R/CD-RWを、パソコンのCDドライブに挿入してください。
- あらかじめICレコーダーで録音したファイルを「Sound Organizer」に取り込んでから、音楽CDの作成を始めてください。

① サイドバーにある［ディスクを作成する］をクリックし、画面右側にある［音楽 CD を作成する］をクリックする。

② サイドバーの［マイライブラリー］をクリックし、CDに書き込みたい楽曲が含まれるファイルを選択する。

③ 画面中央の［➡］をクリックする。

④ CDへ書き込みたい楽曲の確認をする。

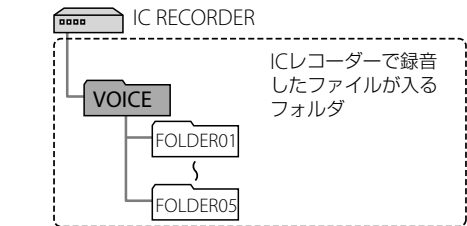
⑤ ［作成開始］をクリックする。
音楽CDの作成が始まります。

💡 Sound Organizerの操作方法については、[ヘルプ]メニューを選択し、Sound Organizerのヘルプを表示して調べることができます。

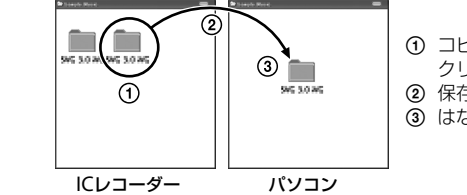
ファイルをパソコンにコピーして保存する

Sound Organizerを使わずに本機とパソコンを接続して、ファイルのやり取りが行えます。

① 本機のUSB DIRECTつまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。

② 正しく認識されているかを確認する。
Windowsでは、「コンピュータ」（または「マイコンピュータ」）を開き、「IC RECORDER」が新しく認識されているかを確認してください。
Macでは、Finderに「IC RECORDER」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

③ 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。
「IC RECORDER」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

💡 ファイルやフォルダをコピーする（ドラッグアンドドロップ）

① コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
② 保存先まで移動（ドラッグ）して、
③ はなす（ドロップ）

④ 本機をパソコンから取りはずす。
本機の録／再ランプが消えていることを確認し、パソコンで下記の操作を行います。
Windowsの場合：
タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。
→[IC RECORDERの取り外し]（Windows 7、Windows 8）または、[USB大容量記憶装置 − ドライブを安全に取り外します]（Windows XP、Windows Vista）を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。
お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。
Macの場合：
Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取りはずしアイコンをクリックしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。